



第8号
平成14年10月

編集発行

九頭竜厚生事業団
九頭竜ワークショップ
広報委員会
☎0779-87-3003

さつまいもの収穫



里いもの収穫

九頭竜ワークショップ

所長 五十嵐 開

農産園芸科の充実を図る

最近の経済界においては、製造業の海外シフトが盛んとなり、ドーナツ現象を起こし、国内の企業はジリ貧傾向にあります。親会社に頼っている委託事業が九割以上を占める我々施設の授産事業においても、変化の一途を辿り、売上高も年々減少しており、閉鎖しなければならない部門も出てきている状況です。

ここで、第二次・第三次産業に頼らずに、第一次産業に活路を見出せないものかと平成十一年四月に農産園芸科を創設し、現在土地の拡張を図っております。幸い、地元地主の皆様の寛大なご理解とご協力を頂いて、広大な土地取得が出来ましたので、農山村型の施設経営に活路が見出せることと相成った次第であります。

農産園芸科の仕事は、肉体的苦労が伴い、楽な仕事ではありませんが、今一生懸命に取り組んでいる入所者のためにも、他の入所者を増員していくたいと思います。

自然是、心を癒すとまで言われております。入所者が自然と接して、精神が安定していくならば、この上もない喜びです。また、この広大な土地に、さくらんぼの果樹園を新設し、その周囲には、ぶどう、柿、栗と、周年とまでも行かなくても、夏・秋に採れる果樹園に入所者はもちろん、地域の小・中学生やお年寄りが憩う場所が出来ることを夢見てやみません。

平成14年10月

よりだ坂ナカン

”ふるさと訪問を終えて……“



「ふるさと訪問」という企画は、長年入所されている方が、家庭の事情等で自宅に帰宅していない人を対象に、少しでも故郷に帰れるように施設側がお手伝いできたらと思い、実施するようになりました。

今年、六月一日、三日の滋賀県訪問を皮切りに六月二十三日、二十四日が次の感想にもあるように岐阜県へ、九月二十九日、三十日が京都の舞鶴綾部方面へ十月十五日、十六日岐阜県へと実施しました。

ワークショップの玄関で、「行って

きまーす。」と元気に出発!! 車に乗
りいざ岐阜県の家へと、その顔は何を
考えているのかなー。声掛けを多く

していただけれど、近づくにつれて答え
がすぐに返って来なくなってきたまし
た。どうも、車の中から外の景色を見
るのに一生けん命で、答える余裕がな
かつたみたいでした。

神村智恵子さん、富田恵美子さん、
川瀬花枝さん、三名とも二十年以上実
家に帰っていないません。どんなに楽し
みなことでしょう。富田さんの家の方
が私達の前を先導して下さいました。
「恵美子さん、この辺どうですか、変
わってますか?」

職員が聞くと、

「昔すぎて、よく覚えておらんわ!!
でも、砂利道だったことは覚えてる」
と返事がありました。

十年ひと昔といいますが、どんなに
環境が変わつても、家で待つ家族のあ
ったかい気持ちは変わりません。それ
ぞれの家の方は、本人や私達にまで、
気を使つていただき有りがたく思いま
した。

出発前の打ち合せの電話の中でも

「待つてますよー」という声に、この
企画をして本当に良かつたと感じまし
た。

介護第一係主任 森岡優子

始めての海外旅行

第一セルブ入所者

横江清悟

昨年の「ふれあいの翼」参加者、当施設から宮脇直子さん（第一セルブ）に続いて、今年、一〇〇一年ふれあいの翼に横江清悟さんと介助員に岩岡主任が参加しました。

思いました。無理カナ!!

市内見学で、マーライオン公園、
マウントフェーバー植物園などを回
り、買い物をしました。

バスの乗りおりが毎日苦しかった
です。

らばれ九月二日から九月七日までの
○二年の「ふれあいの翼」の団員にえ
り、生まれて三十九才になつて「二〇
シングガポールへ行かせてもらいました。
た。団長・団員二〇名が助け合い交
流のために県庁で皆さんに送られ、
大阪へむかいました。

二日目とうとう飛行機に乗り、長
い旅がはじまりました。機内では体
がえらくてもこれから長い時間の
ことを思つていると、所長さん、室
長さん、入所者の皆さんのが浮か
んできました。六時間かかりました。

現地に着き、何もかも大物に見え
るので、感動してしまいました。
これから三日間、いろんなこと
にぶつかっていくんだと思い、自分
に言いきかせ、おちつかせました。



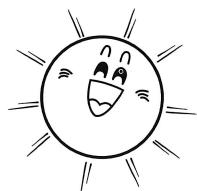
マウントフェーバー 蘭の植物園にて

7月18日 今年も鷹巣海水浴場へ

当施設では、24年前から海水浴を実施し、毎年、鷹巣海水浴場へおじゃましています。

福井市川西地区の社協ボランティアの皆さんと、今回初めて、国見中学校2年生の生徒さんの協力も頂き、とてもにぎやかな海水浴となりました。

ここで、参加して下さった国見中学校生徒さんの感想の一部を掲載いたします。



最初は、「学校行事だから仕方ない」という気持ちでしたが、時間が過ぎるにつれて、「自分にも何か出来ることはないか」という気持ちになりました。海に入ることが出来ない人も、バケツに入った海水に手や足をつけて楽しそうでした。私は、その姿を見ていたら、うれしくなってきました。

夕方、解体作業を手伝ってみて、色々な工夫を見ました。車椅子の人の為にベニヤ板で道が造られていました。横には、落ちないようなカバーがつけてあったり、海水で作られた特製プールには、魚が泳いでいて、海の雰囲気が出していました。2日前から水が漏れないように木で基礎工事がされていたそうです。

職員やボランティアの人々が不自由な人を喜ばせようとするための工夫や努力が感じられ、楽しさが倍になったのではないかと思いました。



国見中学校の皆さん
ご協力、本当に
ありがとうございました！



今回、僕はボランティアという形で障害を持った人たちとふれあいました。海に入れてあげたり、砂風呂を作ってあげたりとすごく良い体験になりました。

車椅子を動かす時、始めはうまくやれるか心配でした。段差があった時、進めなくてどうしようと思ったけれど、授業で練習した時のことを思い出し、落ち着いてやってみたらうまく行きました。

海に入るときは、始めは怖がっていたけど入った時は日本海の味を味わっているかのようでした。

高齢の方や体の不自由な方々と海に入ったり、一緒に話をしたりしました。僕は生まれて初めてこのような体験をしました。

僕はバスから降りるところから待っていて、ずっと付き添っていましたが、何程の力にもなりませんでした。自分のしていることはボランティアではなく、大きなお世話ではなかったのかと。必要なときにスッと手が伸びる。そんなボランティアをしたいなと思いました。

会長に就任して、早一ヶ年が経過、何一つ成果を上げることが出来ず、申し訳ない気持ちで一杯でございます。

一ヶ年を振り返つてみると、最初の役員会

で所長さんをはじめスタッフ、職員様の温かい心情に触れ、我々保護者として何か恩返しが必要だと痛感いたしましたが、もう一ヶ年が過ぎてしまいました。

その中で、初めて十二月に役員さん同志の親睦とワークショップの交流を実施出来たのは嬉しい限りです。

夏まつりや冬まつりには、保護者として、強力な支援、手伝いをしながら出来る限り、ワーケーション側の心情に応えようと努力いたしましたが、何程の力にもなりませんでした。

さて、二ヶ年目を迎えるに当たって、我々保護者がワーケーションを信頼し、自分の気持ちを率直に語り合い、わだかまりのない関係にしたいものと思います。また、何に協力出来るか役員一同が心がけ、これからも惜しみなく頑張る所存でございます。

時代が混沌としてきており、とかく気持ちのすさまじ中ですが、いつもワーケーションに入るとき、地上乐园の様な、心温まる施設雰囲気に心安ります。心から感謝すると共に我々も精一杯後押し出来るよう、又、保護者として血の通つた生き方をしたいものと心新たにしている次第です。

本年もよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、ワーケーションの益々の発展をご祈念申し上げます。

『自然とはその者の気によつてついてまわる』

一ヶ年を振り返り

保護者会会長

木下 晃

「一日一日を大切に」

シルバーケア入所者 山内と志

私は、病気のため勝山の病院に居りました。状態がとても悪かったのですが、福井の病院へ移り、

覚えるのが大変でした。

どうにか自分の事が出来るようになつて退院することになりました。入院するまでは、勝山で一人暮らしをしていましたが、退院後

どんな方に対しても、看護婦さんや、職員さんは、

は、一人暮らしが不安で、施設に入ることを決めました。私の子供が九頭竜ワークショッピングセンターで、私も九頭竜ワーカーとしておりますので、私も九頭竜ワーカーとしておられます。

とてもやさしく小言一つ言わないで、良くお世話を

入れることを決めました。私の子供が九頭竜ワークショッピングセンターで、私も九頭竜ワーカーとしておりますので、私も九頭竜ワーカーとしておられます。

いつも感謝してみていますが、私も

いつか、体が悪くなつた時にも、こんなに優しい方々に、護られて

いけると思うと、感謝の気持ちで

戸惑いましたが、綺麗な一人部屋で、子供と一つ屋根の下にいることが一番嬉しく思います。

これからも、感謝の気持ちを忘

食事は、栄養に富んだ物が沢山出るので驚きました。歯が悪いので固いものはミキサー食に柔らかいものはそのまままで…、と、私の思いどおりに対応して下さるの

とが一番嬉しいです。

又、車いすの方が多いのも驚きましたし、看護婦さんや職員さんが、大勢いらっしゃって、名前を

「遠き山 市街見おろす 老施設 残る人生 ここで暮さん」

山内と志



—リハビリING— 『バスを使っての外出訓練』

機能訓練係係長 森田亮司

今年の春、私たちは、京福バスを利用した、最初の外出訓練を行いました。目的地はサンプラザ。メ

ンバーは杖歩行を練習して

いる菅生清治さんと小椋幸

子さん、車椅子生活が長くなつてしまつた池田晶彦さん

ん、毎日一生懸命杖を使つて歩いている松田静子さん

ん、そして私たちリハビリ

スタッフを入れての計八名。

一〇〇円券を購入し、バスの階段を何とか上がつて

出発、所要時間は約三十分。停留所に着いて驚いたこ

と、それはバス停からサン

プラザまでの長い距離でした。

約一〇〇メートルをス

タッフがマンツーマンで付

き添い、横断歩道を渡つて、無事到着。みんなの息は上がつていてですが、何とも不思議な達成感が私たち八人に生まれていました。

私たち、店の中も歩いて大丈夫だ!と意気揚々だったのですが、何とサンプラザには無料貸し出しの車椅子が置いてありました。もちろん、ありがたくお借りし、そ

して、短い時間のショッピングを楽しみました。普段、私たちが気にも止めない段差やそ



歌が大好き



「しらかば～あおぞおら みなみかぜ～」と大声で歌う柳原サダヲさんは、大正四年二月二十日生まれの八十七歳です。

居宅介護支援 係長 筒川智子

みなみかぜ～と言えば：

「しらかば～あおぞおら みなみかぜ～」と大声で歌う柳原サダヲさんは、大正四年二月二十日生まれの八十七歳です。平成八年二月、食事が取れず栄養状態悪く、胃ろう造設され、その後の年四月シルバーケア九頭竜開設と同時に入所されました。

胃ろうという事で一日三回流動栄養食をベッド上でギャッジアツプし流入します。生活への意欲もなく、車椅子に乗ることも嫌がり、ただベッド上の生活でした。しかし、会話が可能な為、積極的に声かけを行っていました。平成十一年頃より、おやつ時に経口摂取訓練ということでプリンを食べ始め、その後車椅子に乗り、皆さんと一緒に食べられるようになります。しかし始めは車椅子に乗る事が怖いようで、大声を出し、ほんの数分で「寝かせて」と言われるくらい車椅子に慣れない生活でした。

平成十二年

より、介護保険が始まり、援助の方針を持ち、目標に

向かつて介護するということで、まず私たちには、寝つき状態にあることから、離床することと、車椅子に



慣れもらうことから始めました。

①おやつ時は車椅子に乗り食堂に出ること。②散歩に行くこと。毎日行っているうちに、みんなに自ら声を掛けたりして、

終始ニコニコ顔でした。だいぶ車椅子に慣れ、離床時間を増やすということで、昼食時は食堂に出てみることになりました。そのうち、みんなの食べているのを見て、「食べたい」と言う本人の希望があり、経口摂取訓練の成果がありました。

九月より、昼食のみミキサー食を食べることになりました。二月には、冬まつりにて善行表彰を受け、とても喜ばれ、また、自信がついたようでした。

二月より、夕食もミキサー食を食べることで味がわかり、「おいしい」と言われ、また食堂では、他の入所者の方と会話がはずんでおり、楽しそうな表情が見られるようになりました。

そのうち、自分で車椅子を駆動している方を見て、いつしか自分で意欲的に車椅子をこぐようになりました。

今では、三食とも食事を摂ることとなり、廊下を我が道のように「しらかば～」と大声で歌いながら車椅子をこいでおられます。

これらの店の中の狭さ、また普通のバスの階段がいかに乗り降りしにくいか、など気がつく点も多々ありました。バリアフリーが言われても何年も経ちますが、私たちが社会的資源を上手く活用しながら外へ積極的に出かける、それ 자체が住みやすい環境をつくっていくための社会に対する発信にもなるのかな、そんなことを感じました。

そして、今年の秋まで計七回、外出手段の獲得と屋外での応用歩行訓練を目的として外出訓練を行いました。施設利用者が社会との関わりを持ちながら、施設での生活を楽しむ、手助けの一つとしての外出訓練を、私たち機能訓練係は今後も行っていくと考えています。

作業ご奉仕ありがとうございました

平泉寺町婦人会様

「連合福井」勝山地域協議会様

松文産業労働組合青年部様

元町3丁目 婦人会様

カンナの会様





施設で育んだ愛 2組ゴール

H14.3.6

当施設で結婚式・披露宴

結婚式を挙げたのは、佐竹幸一郎さんと洋子さん、林益司さんと範子さんの2組です。

結婚式から、6ヶ月経った今日、2組に感想を……。



私たち二人は、
でこぼこコンビで丸くいっています。

たくさんある時計の音も
子守歌のように聞こえてくるのが

不思議なくらい。

(洋子さん)

毎日が楽しい。
一日でも長く一緒にいたいから、
お互いに無理をしないで
長生きしたい。

(範子さん)

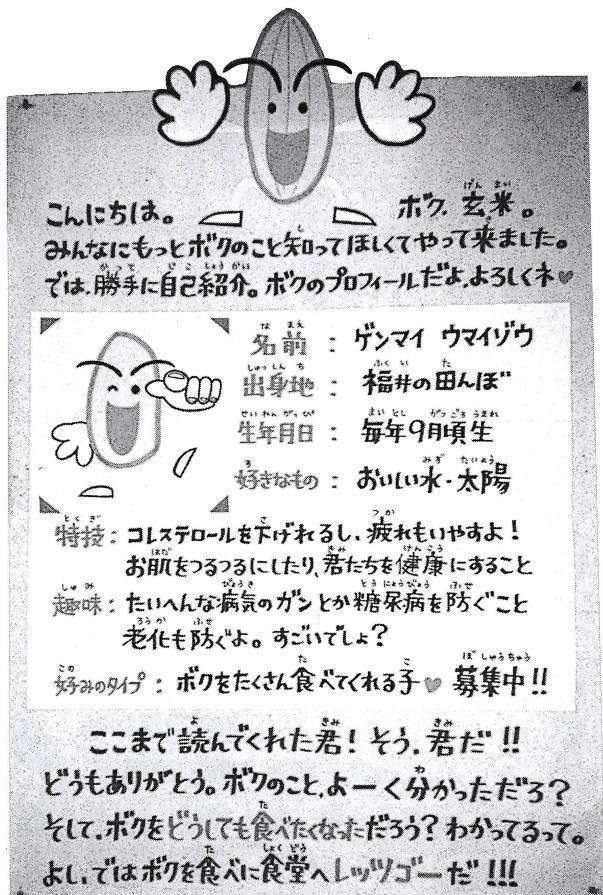
ダイエット食にも、 挑戦しています！

私達九頭竜ワークショップの厨房では、毎日1000食以上の食事を作っています。主食となる御飯は白米と玄米とに分かれています。利用者の約半数は玄米御飯で、職員は全員が玄米御飯を食べています。おかげで体の調子も良く、毎日元気で仕事に励んでいます。

現在、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、よりおいしく食べていただけるように、毎食カフェテリア方式で提供させていただいている。又、きざみ食、みじん食、ミキサー食、治療食はもちろん、ダイエットにも力を入れています。主食、副食ともカロリーの低い食材を使い、ボリュームを出し、見た目で満足していただけるよう、盛り付けなども勉強しています。今、職員、パート含め21名が厨房に入り利用者の食事作りに励んでいます。

女性ばかりの職員の中に1人男性が入り、嬉しそうに仕事をがんばっています。

給食係主任 室井 勉



振り返つて 今・・・

自治会会長

植村美義

健康管理のための 禁煙指導について

生甲斐

私は、昭和四十五年交通事故により、ハンディキャップを持つ身になり、三十余年、それまで活発に生活していた

今ある喜びや感謝をより大きなものにしていけるよう、努力していくたいと思います。

当施設は入所者の健康を真に考える福祉施設として、入所者には禁煙をしていただく事をすすめています。タバコの煙は非喫煙者にも害を与え、また、喫煙者の姿は禁煙努力中の人们に決して良い環境とは言えません。

ハンディを持つて生きていく
事の大変さを考えまいとし、
その現実に立ち向かい、受け
入れられるようになるまでに
は、長い時間がかかりました。

近年、自分の人生を振り返った時、自分は障害者にはなつたが、決して不幸ではなかつたと、はつきり言えるのです。

今年の福井県身体障害者スポーツ大会の選手宣誓で「生まれてきた喜び、産んでくれた両親に感謝する……」と宣誓されたのを聞き、共感し、感動を覚えました。

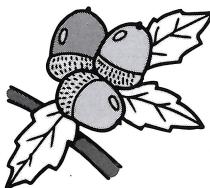
来年度から、障害者に対する福祉の方法が大きく変わります。これまでの『措置』から『支援』となります。つまり『与えられる』から『自分で切り開く』になるのだと思

平成十四年度自治会役員

役員 副会長 植村 清野 文夫 義美 安代子 夫
小坂和枝 高島幸治 西川幸嘉 北村源嘉 浅美夫 沢山嘉道 正子 井道 輝子 岩山正子 佐藤輝子 佐野文子 村山義子

以上のメンバーです

いします



平成十四年一月から現在までにたばこをやめた人はは十四名。まだ、喫煙している人二十七名です。

禁煙委員會

と旅語との理
や交流も深ま
るものと期待し
います。

面禁煙を目指しております。全職員が禁煙を実施して入所者の健康に対する支援を行つものであります。

施設入所者が社会福祉施設を利用する意義の一つには、「健康管理」も施設に託されているからであります。喫煙を認め、入所者の健康状態が悪くなるのを黙認するのではなく、「責任ある健康管理」とは言えません。以上の事を全職員が理解し、入所者への

以上の事を全職員が理
禁煙指導を行つています

平成十四年一月から現在までにたばこをやめた人はは十四名。まだ、喫煙している人二十七名

の荒川英世さん（石集制作中に死去）を中心となり、施設におけるクラブ活動の一つとして平成三年十一月に発足しました。以来毎月二回の例会を開き入所者は勿論、地域の障害者やボランティアの参画を得て俳句サークルとしては珍しい活動を続けて来ました。

俳句集は「生甲斐」と表題を付け、会員の十年間の力作に加え、歴代会員の作品も紹介し年二回の吟行の思い出が写真でつづられています。こうして、十年間の俳句作りの苦労話しや作品を本

にして残すこと
によつて、施設
に入所している
障害者の励みに

なると共に地
と施設との理
や交流も深ま
るものと期待し

い
ま
す。

わたしたち働いています

昨年九月より、ニチコン大野工場の小型アルミニュウム電解コンデンサーの外観検査作業を取り入れています。

ニチコン株式会社は、資本金一四二億八六〇〇万、売上一二一二億、一部上場の大企業で、大野工場は小型アルミニュウム電解コンデンサーの要の生産拠点になっています。

工場を見学させていただきましたが、二十四時間フル稼働。月産約一億個で国内外に出荷されているとのことです。品質の国際規格ISOの認定工場のため、一個の不良も流出することが許されず、その検査作業を、当施設の福祉就労部第二プラバーツ係で担当する事になりました。

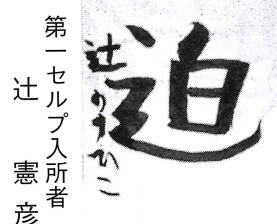
小型アルミニュウム電解コンデンサーは家電・情報通信機器から自動車の制御回路まで、エレクトロニクス機器のあらゆる分野で、最も重要なバーツとして利用されています。そのため、一個の不良も見落としが許されないと、緊張感と使命感のためか、職場にはピーンと張りつめた雰囲気が感じられます。



福祉就労部 主任 片岸はるみ

感心するばかりです。
不況、リストラと厳しい経済環境の中、お取り引きして頂いてまだ一年程ですが、今までの実績が認められ、当初よりも二倍もの仕事量を増やして頂けることになりました。そのため、新しい仲間十名がこの職場に加わることになりました。

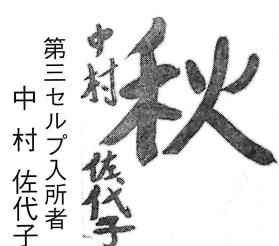
お取り引き先の期待に応えられるよう常に緊張感と使命感を忘れず頑張りたいと、メンバー一同気持ちを新たにしております。



辻 憲彦
第一セルプ入所者



山田 昌巳
第二セルプ入所者



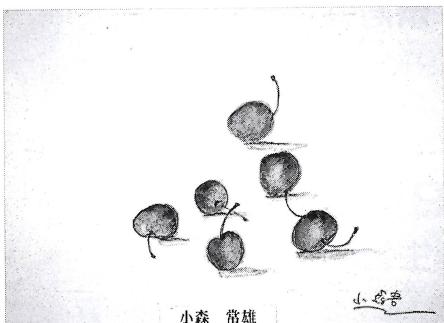
中村 佐代子
第三セルプ入所者



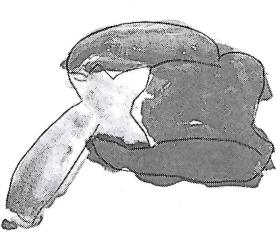
木本照男
木本照男
第一セルプ入所者



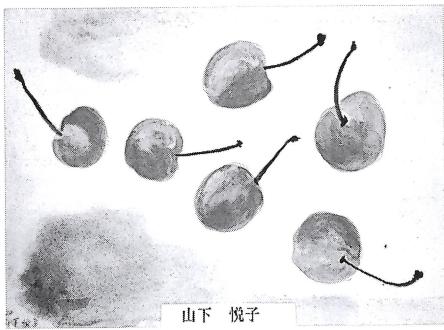
習字クラブ



小森 常雄
第2セルプ入所者



広沢 いづみ
第3セルプ入所者 広沢いづみ



山下 悅子
療護入所者 山下悦子

ありました。

7月10日

誕生会

越峰流吟舞道会大野支部様には、とてもめずらしい剣舞、詩舞を披露して頂きました。



8月21日

米寿お祝い会

壁本きくえさん
おめでとうございます。



誕生会

NHK福井県のうたでおなじみの、戸田ともえさんの歌をきかせて頂きました。



8月31日

勝山市自営消防操法競技大会

当施設グランドにて行われ、当施設では、女子の部でみごと入賞しました。



7月7日

七夕のつどい

勝山市漁業協同組合様より鮎の寄贈を受け、玄関前広場での七夕のつどいに、炭火焼きにしておいしく頂きました。



8月3日

第25回夏まつり



前日の降雨のため、グランドコンディションが不良になり、式典は取りやめになりました。関係機関の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。
内輪で、夏まつりを行いました。

8月22日

法人創立25周年記念事業の記念庭園の起工式が行われました。

9月2日

米寿者慰問

山岸勝山市長様が来所され、励ましの言葉を頂きました。

9月16日

誕生会・敬老会

美山町、美杉太鼓の皆様による力強い響きを楽しませて頂きました。



4月8日**花まつり**

福井市の照恩寺住職様によります、
読経と法話がありました。

誕生会

祥雲太鼓様の力強い太鼓と東会様の華やかな舞踊、そして、松本様よりソフトクリームのご協力を頂きました。

**こんな行事が****3月6日****合同結婚式****誕生会**

藤間流師範藤間勧矢寿様・大野宝生会様
淡雪会様・青葉の笛顕彰会様
から心温まる、アトラクションを
披露して頂きました。

5月15日**誕生会**

福井市の啓蒙ボランティアグループの皆様が、吟舞、民踊、フラダンスと幅広い内容で楽しませて下さいました。

**6月12日****誕生会**

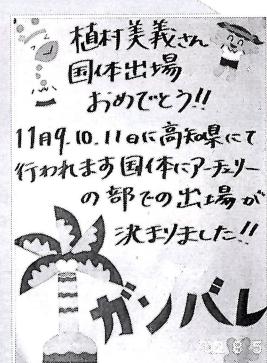
毎年、笹の葉を取り、ちまき作りをしています。今年も、福井の本郷地区ボランティアの皆様に、ちまき作りのご協力と、カラオケなどのアトラクションにも参加して頂きました。

勝山市婦人センター踊りの会様、いずみの会様には、民謡や踊り等を披露して頂きました。

6月16日

第40回県身障者スポーツ大会に参加し、汗を流しました。

そして、植村美義さん（第2セルブ）がアーチェリーで障害者国体出場者に決まりました！

**6月7日**

第22回県知的障害者スポーツ大会（県営運動公園）に参加し、楽しみました。

国体出場

おめでとう!!

木水千代子さん
幅跳び競技に
参加されました!



そして、木水千代子さん（第3セルブ）が障害者国体出場者に決まりました！

6月29日

第37回勝山市身障者スポーツ大会（市営体育館）に、ワークショップも大勢参加しました。

九頭龍ワーフショッピング 俳遊会定例会作品

一 大根菜薄さほどよく選る妻

中村昭南

二 食堂に新米知らす紙貼らる

木村唯志

三 着更物古着捨てずにまた納め

山内登志

四 句作りに時を忘れし夜長かな

古井光生

五 高原のコスモス撫で行く車椅子

南健治

六 リンドウの花ひつそりと野辺にあり

山口芳枝

七 焼き芋の熱さこらえて食べ急ぐ

明石真由美

八 子のメール待つ身に長き秋の夜

前原甚四郎

九 病む母の鏡に写す今日の月

松浦とし

十 この色が出せぬと悩む秋の海

山下悦子

十一 熊よけの鈴を片手に草狩り

市原きみよ

十二 霧の海奥越すべて隠すかな

小寺春美

十三 異なことに今日は聞き役秋扇

荒井微風

今年の行事予定

11月6日 11月誕生会(ダンディ合唱団様)

米寿祝い会

第2回全国障害者スポーツ大会出場選手壮行式

7日~12日 第2回全国障害者スポーツ大会(於 高知市)

13日 県内実施機関担当者連絡会議

14日 県外実施機関担当者連絡会議

15日 平泉寺小学校 杉の子まつりに参加予定



12月1日 第25回冬まつり

18日 12月誕生会(開成保育園様、林様)

物故者法要

編集後記

今年もカンナの花を楽しめ
せてもらいました。

ご存じですか? カンナの花の黄色と赤の違い、どこで見分けるか……。咲いている花の違いが茎にもあるんですね……。赤い花の方は、大きな葉っぱの端の方が赤く、なつていて、黄色の方は、葉っぱの全体が赤い方よりも薄く緑色になっているんですって。

それを聞いて私も、じつと観察しました。本当にそうでした! さあ……そろそろ、カンナの球根の掘りおこしの時期。今度は、球根の違いを観察してみたいと思います。

十二月一日(日)は、第二十五回冬まつりです。次回は、冬まつりの模様を紹介したいと思います。又、読んで下さいね。

松田き